

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (R4-11号)

令和4年9月6日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和4年9月1、2日に三河湾、5日に伊勢湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

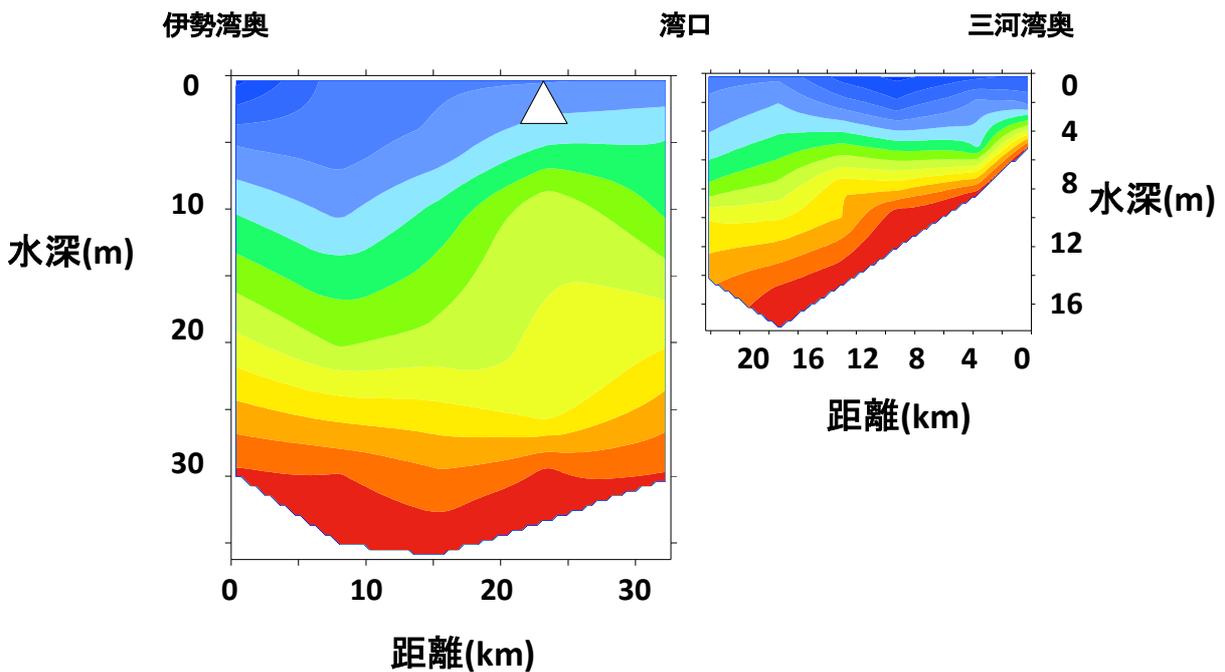
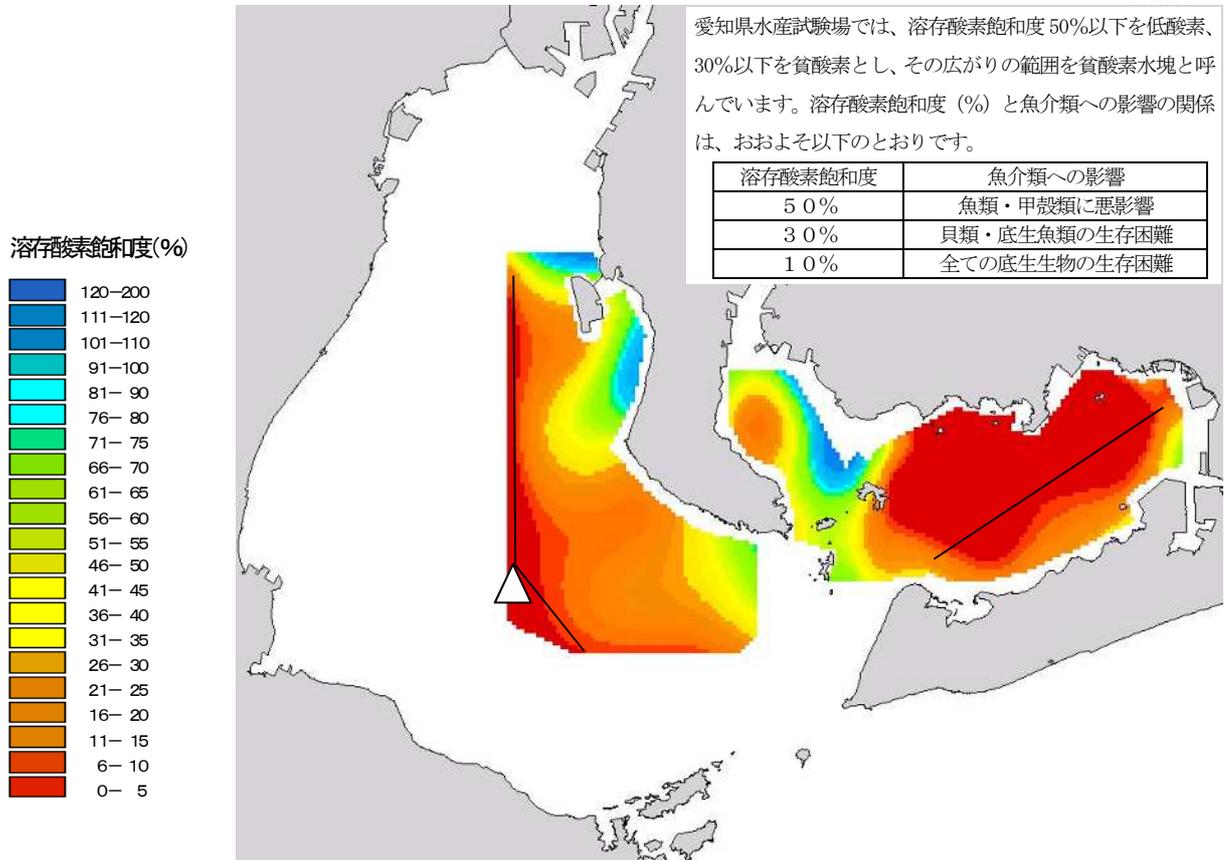


図1 伊勢湾(9月5日)、三河湾(9月1、2日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「へいわ」調査)

## 伊勢湾

9月5日の調査結果を図1に示しました。湾中央から湾南部にかけて貧酸素水塊が確認されました。鉛直分布図を見ると、水深20m以深で溶存酸素飽和度30%以下の貧酸素水塊が形成されていました。

8月以降、降雨が多かったことから表底層間の塩分差が大きくなっています。今後しばらくは湾中央を中心に貧酸素水塊は維持されると予想されますが、強風に伴う苦潮に注意が必要です。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	26.8~27.9	12.3~29.7
底層	19.0~27.6	25.2~33.9

## 三河湾

9月1、2日の調査結果を図1に示しました。渥美湾ではほぼ全域で、知多湾では湾西部(河和沖)で貧酸素水塊が確認されました。前回調査時(8月24日:図2)と比べると、渥美湾では、湾口部で貧酸素水塊が拡大していました。知多湾では貧酸素水塊の規模は前回調査時と同程度でした。

表底層間の塩分差が大きくなっていることから、今後も貧酸素水塊の規模は維持すると予想されますが、台風の通過時など、強風に伴う苦潮の発生に注意が必要です。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	26.4~29.2	11.0~29.7
底層	22.2~27.1	29.0~32.7

## 参考

前回調査時の両湾底層の溶存酸素状況

溶存酸素飽和度(%)

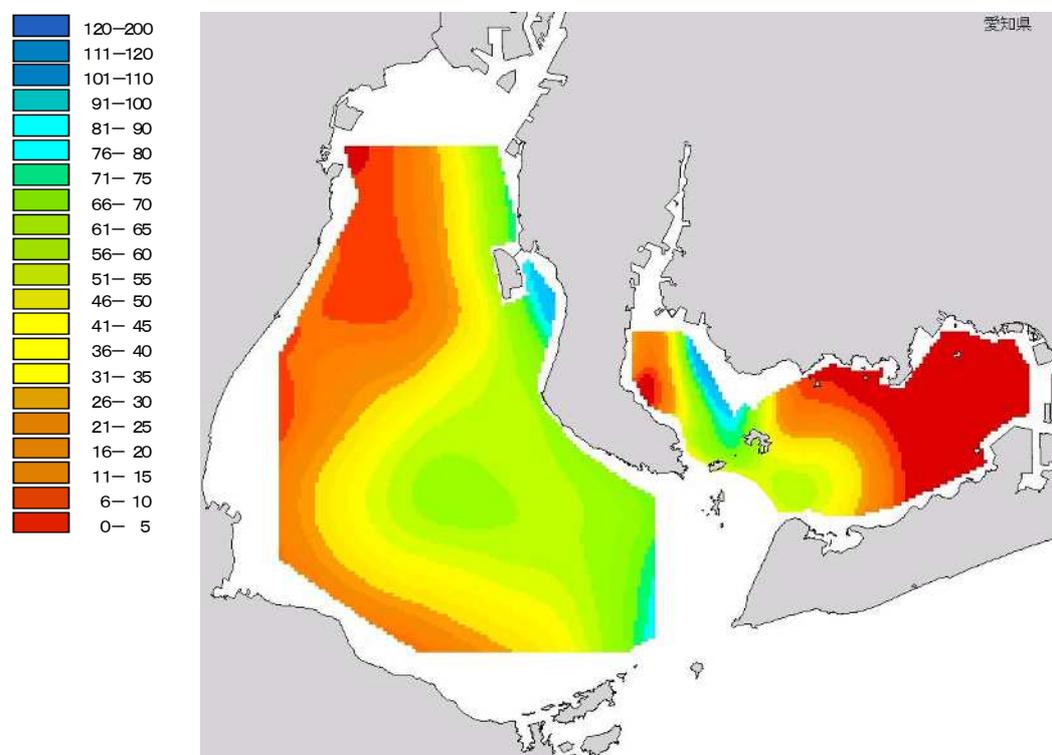


図2 令和4年8月1、2日(伊勢湾)、8月24日(三河湾)